

2007年度

Block 4 テュートリアル課題

課題番号 2

首の座りが不安定



無断で複写・複製・転載すると著作権侵害となることがありますのでご注意ください

小児科学 永木 茂

現在、11ヶ月の春子ちゃんです。母親は6ヶ月になった時、春子ちゃんの首の座りが悪いこと、物に手をのばさない、玩具をとろうとしないことをかかりつけの医師に相談しました。

#### 抽出が期待される事項

1. 首が座るとはどういうことか？首は普通いつ頃座るのか、又、物に手をのばさない、玩具をとろうとしなのは異常なのかどうかを理解し正常小児の運動、精神面の発達について説明できる。

## 「首の座りが不安定」

春子ちゃんを診察した医師は、首の座りが不安定であること、四肢の動きが悪いことに加え、身長(66cm)、体重(7.3kg)の割に頭囲の拡大(45.0cm)、大泉門の拡大(5.5×5.5cm)がみられることを指摘しました。医師は母親に「今までに春子ちゃんの体調に何か問題はありませんでしたか？」と質問したところ、母親は、「満期産で生まれお産は問題ありませんでしたが、生後20日頃に高熱がみられ入院治療を受けました。」と話しました。医師は大学病院を紹介しました。

## 抽出が期待される事項

1. 首の座りが遅いことに加え、四肢の動きが悪いことの原因の一つに脳性麻痺があることを抽出する。
2. 脳性麻痺の原因、治療について。
3. 新生児期の発熱の原因について。
4. 頭囲拡大の有無をチェックするときの頭囲、大泉門の大きさの測定法、大泉門を触ってその状態を調べる。次いで頭囲拡大の原因について。

「首の座りが不安定」

大学病院の外来の主治医は母親が持参した春子ちゃんが以前に入院した時(生後20日頃)の検査結果をみました。春子ちゃんの頭囲はその後急激に大きくなってはいないが入院して検査しましょうと話しました。

#### 抽出が期待される事項

1. 検査結果をみて、細菌性髄膜炎に罹患していたことを指摘し、髄膜炎の原因、治療、合併症について抽出できる。
2. 入院して必要な検査について説明できる。
3. 髄液の産生、循環、性状について。
4. 水頭症の原因、分類、治療について。

「首の座りが不安定」

入院中に春子ちゃんは脳神経外科の医師にも診察を受け主治医と一緒に経過を見ていきましょうといわれました。春子ちゃんは退院後も治療のため通院していました。

抽出が期待される事項

1. 退院後も必要な治療としてリハビリテーションが抽出できる。
2. 水頭症の治療における外科的適応について。